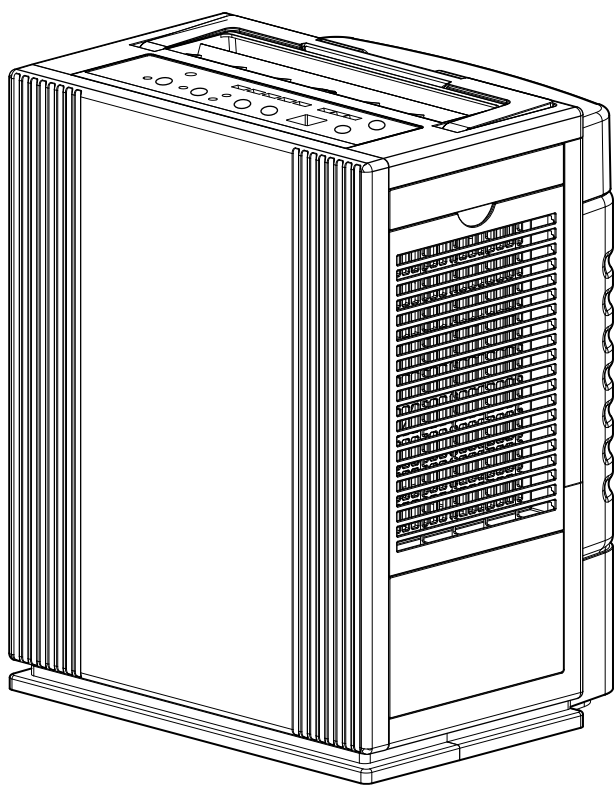


次亜塩素酸加湿器 KHM-6010

取扱説明書 (保証書付)

ご使用前に必ずお読みください。



このたびはコイズミ 次亜塩素酸 加湿器をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。





なお、この取扱説明書には保証書がついています。お読みになった後も、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

目次

- 安全のため必ずお守りください …… 1
- 知っておいていただきたいこと …… 4
- 各部のなまえ …… 6
- 使う前の準備 …… 8
- 使いかた …… 9
 - 運転する前に …… 9
 - 運転する …… 9
 - 運転を止める …… 9
 - 運転を切替える …… 9
 - チャイルドロック …… 10
 - タイマー予約 …… 10
 - タンクの水がなくなると …… 11
 - ランプの明るさと設定について …… 11
 - 給水お知らせ音について …… 11
 - 積算運転120時間後の操作 …… 11
 - 電解濃度切換スイッチ …… 12
- お手入れのしかた …… 12
- 電極ユニットの交換のしかた …… 16
- 除菌水フィルターの交換のしかた …… 17
- 保管 …… 17
- 故障かな?と思ったら …… 18
- 仕様 …… 19
- 消耗部品について …… 19
- アフターサービスについて …… 20
- 保証・無料修理規定 …… 21
- 保証書 …… 裏表紙

安全のため必ずお守りください


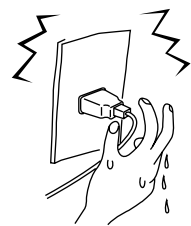








ここに示した注意事項は、いずれも安全に関する重要な内容を記載しています。必ず守ってください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができるところに必ず保管してください。

 警告 誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。	 注意 誤った取り扱いをしたときに、人が軽傷を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容。		
 禁止	 必ず実施	 分解禁止	 電源プラグを抜く
 ぬれ手禁止	 感電に注意 (本体に表示)	 水ぬれ禁止	

警告

分解修理・改造の禁止		水をかけない	
 分解禁止 分解修理・改造はしないでください。 火災・感電・けがの原因となります。 修理は、お買い上げの販売店、または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。		 水ぬれ禁止 本体を水につけたり、水をかけたりしないでください。 ショート・感電のおそれがあります。	
異物を入れない		お手入れのときは電源プラグを抜く	
 禁止 吹出口や吸込グリル(吸気口)にピンや針金などの金属や異物を入れないでください。 感電や異常動作でけがをすることがあります。		 電源プラグを抜く お手入れのときは、必ず電源プラグを抜いてください。 感電やけがの原因になります。	
幼児の手の届く範囲では使用しない		電源コードを傷めない	
 禁止 感電やけがをすることがあります。		 禁止 電源コードを傷つける、加工する、無理に曲げるなど過度な負荷をかけないでください。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。	





⚠ 警告

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない		AC100V以外での使用やタコ足配線をしてはいけない	タンク、本体のお手入れには塩素系タイプの洗剤や化学薬品は使用しない	
 ぬれ手禁止 感電の原因になります。		 禁止 火災・感電・故障の原因になります。	 禁止 変形や変色することがあります。	
電源プラグは根元まで確実に差し込む		電源プラグのほこりを取る	異常・故障時には使用しない	
 実施 差し込みが不完全だったり、傷んだプラグ、ゆるんだコンセントを使用しないでください。 感電や発熱による火災の原因になります。		 実施 定期的に電源プラグのほこりを取ってください。 ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。	 実施 そのまま使用すると火災・感電・けがに至るおそれがあります。 すぐに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店、または小泉成器株式会社「修理センター」に点検、修理を依頼してください。	
劣悪な環境では使用しない		 禁止 喫煙室、トイレ、調理場、ほこりや塵が多く舞っている空間など	 SMOKING AREA	

⚠ 注意

タンクの水は毎日新しい水と入れ替える		運転中はお手入れをしない	
 実施 タンクは毎日振り洗いして、常に清潔にし、必ず水道水を入れてください。 お手入れせずに使い続けると、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。		 禁止 運転中は、お手入れをしないでください。 感電やけがの原因になります。	
吹出口をふさがない		不安定なところに置かない	
 禁止 吹出口をカーテンやタオルなどでふさがないでください。 故障の原因になります。		 禁止 不安定なところ、水平でないところには置かないでください。 倒れると水がこぼれたり、破損の原因になります。	

⚠ 注意

電気製品の上に置かない		お手入れ後は部品を確実に取りつける	
 禁止	暖房機やテレビなどの電気製品の上に置かないでください。 転倒して水がこぼれたり、水もれすると感電・故障の原因になります。	 実施	除菌水フィルター、空清複合フィルター、花粉吸着フィルター、タンクカバー、吸込グリルなどの部品を外したまま使用しないでください。故障の原因になります。
電源プラグを持って抜き差しをする		長期間使わないときは電源プラグを抜く	
 実施	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。 感電・ショート・発火の原因になります。	 電源プラグを抜く	長期間使わないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。 けが・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

お願い

必ず水道水（飲用）を使用する		持ち運びは水を抜き必ずハンドルを持って行う	
浄水器の水、温水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などは絶対に使わないでください。 除菌効果が得られず、カビや雑菌が繁殖したり悪臭の原因になります。 ※タンクに給水する際、水道水は3~5秒捨て水をしてから入れてください。		本体を持ち運ぶ際は、タンク・除菌水受け皿の水を抜き、必ずハンドルを持ってください。 タンク・除菌水受け皿に水が入ったまま持ち運ぶと本体が傾き、水がこぼれる原因になります。また、ハンドル以外を持って運んだ場合、本体が落下するおそれがあります。	
壁や家具に風を直接あてない		お手入れは定期的に行う	
吹出口から出る風が、壁や家具に直接あたらないようにしてください。 壁・家具が傷んだり、染みの原因になります。		「お手入れのしかた (P.12~15)」に従ってお手入れをしてください。 汚れがひどくなると、カビや雑菌の発生、悪臭、除菌水の消費量が低下する原因になります。	
凍結に注意		室内の加湿、除菌、消臭以外に使用しない	
凍結のおそれのあるときは、タンクと本体内の水を捨ててください。 凍結すると、故障の原因になります。		この製品は室内の加湿、除菌、消臭を目的としております。美術品や学術資料の保存など、特殊用途には使用しないでください。 保存品の品質低下の原因になります。	
ハンドルを手前に倒さない		ハンドルで指をはさまない	
ハンドルは手前に倒れない構造になっています。無理に倒そうとすると、ハンドルが破損します。		ハンドルを動かすとき、本体との間に指をはさまないように注意してください。また、ハンドルは外さないでください。	
除菌水受け皿をしっかりと戻す		運転する時はルーバーを開ける	
除菌水受け皿内の除菌水を捨てた後は、除菌水受け皿をしっかりと本体に戻してください。		ルーバーを閉じて運転をすると本体内部に湿気がこもります。湿気がこもると除菌水の消費量の低下や故障の原因になります。	

知っておいていただきたいこと

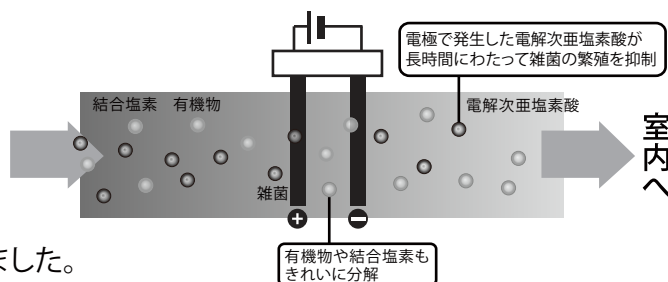
必ず水道水（飲用）をご使用ください

浄水器の水、温水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などは絶対に使わないでください。正常に電解できなくなるためカビや雑菌が繁殖し、悪臭や故障の原因になります。温水（30℃以上）、化学薬品、汚れた水、芳香剤や洗剤を含んだ水なども絶対に使わないでください。除菌効果が得られず、本体の変形や故障の原因になります。

電解水除菌システムについて

電解水除菌システムは塩水に特殊な電極をあて生成される電解次亜塩素酸水により、除菌・ウイルス抑制、消臭するシステムです。水道水（飲用）に適量（専用さじ2～5杯）の塩を投入した時の濃度を基本としておりますので、水道水以外（アルカリイオン水や井戸水）を使用した場合、正常に電解されない可能性があります。必ず水道水をご使用ください。

防カビ素材を採用した除菌水フィルターにより清潔加湿を実現しました。
※定期的な除菌水フィルター等のお手入れは必要です。



運転停止中もコンセントからの通電で電解次亜塩素酸水が生成されます。そのためタンクに塩水が入っている場合には、電源プラグを抜かないでください。電源プラグを抜いてしまうと電解次亜塩素酸水が生成されないため、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。またお手入れの時期を正しくお知らせすることができません。ただし、お手入れや移動などのために、一時的に電源プラグを抜いても支障ありません。

次のような場所では使用しないでください

窓際など外気の影響を受けやすい場所、エアコンなどの風が直接あたる場所

風や温度、湿度の影響で除菌水の消費が早くなる場合があります。

直射日光があたる場所、暖房機のそば

本体などが変形・変色する原因になります。また、温度が上がるため、カビが繁殖しやすくなります。

カーテンの近くやふとんの上

吹出口や吸込グリルがふさがれ故障の原因になります。

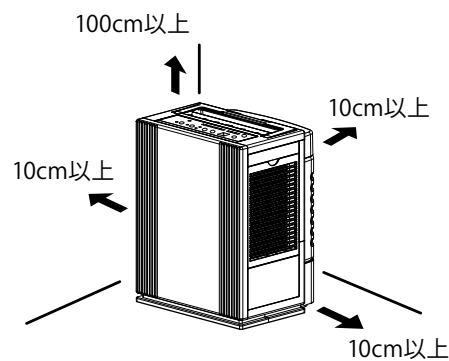
高いところ、傾いた場所、不安定な場所（毛足の長いじゅうたんなど）

地震や、人が触れて落下したり、転倒する原因になります。傾いた場所に設置すると、センサーが作動して運転が停止する場合があります。

スピーカーや電磁調理器の近くなど、磁気の多いところ

フロートが誤作動し、給水を正しくお知らせできない場合があります。

本体の周囲は
下図に示す距離をとってください。



使用温度範囲について

室内の温度が5℃～35℃でご使用ください。

安全機構

本体が一定以上傾く、本体に衝撃を与えるなどすると、エラーコードE1を表示し運転が停止します。

- 再度運転する場合は、電源プラグを抜き差ししてから『運転入/切』ボタンを押してください。
- 水がこぼれた場合は、よく拭いて十分に乾燥させてからご使用ください。

※電源プラグを差し込んでいる間は、運転停止中でも傾き、衝撃によりE1を表示します。その場合にも電源プラグを抜き差ししてください。

知っておいていただきたいこと

除菌水透過方式について

湯気（蒸気）は見えません

除菌水を沸騰させたり噴霧しない除菌水フィルター透過方式（通風型）採用なので湯気（蒸気）は見えません。

吹出口から出る風は暖かくありません

空気を透過するときに熱を奪うため、吹き出す風は暖かくありません。
お部屋の広さによっては寒く感じる場合があります。

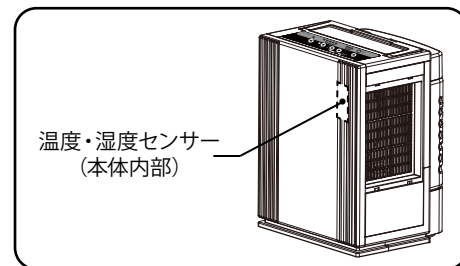
湿度や温度の条件によって除菌水の消費量が変わります

室内の湿度が高い場合や温度が低い場合は、除菌水の消費量が少なくなることがあります。

現在湿度表示について（湿度表示は目安としてお使いください）

現在湿度表示は、本体内部にある温度・湿度センサーで測った湿度の状態を表示しています。

- 同じ室内でも温度差や気流などが影響し、場所によって湿度表示が異なる場合があります。
- 運転開始直後は、本体内部の温度や湿度の影響を受けるため、現在湿度表示が安定するまで、時間がかかる場合があります。
- お手持ちの湿度計と表示が異なる場合があります。



湿度について

お部屋の湿度が上がりにくいとき

- お部屋が広すぎませんか。 ⇒ 適用床面積を目安として使用してください。
- フィルター類がほこりで目詰まりしていませんか。 ⇒ フィルター類をお手入れしてください。
- 除菌水フィルターに、水あかやごみが付着していませんか。 ⇒ 除菌水フィルターをお手入れしてください。

適用床面積の範囲で使用していても、お部屋の湿度が上がりにくいとき

- 換気の度合、外気の乾燥の程度、床や壁の材質によっては、適用床面積の範囲で使用していても湿度が上がりにくいことがあります。

センサーについて

温度・湿度センサー/光センサーのはたらきによって自動で運転いたします。

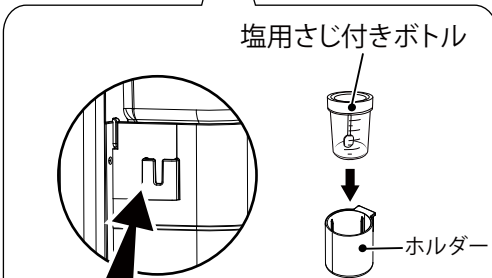
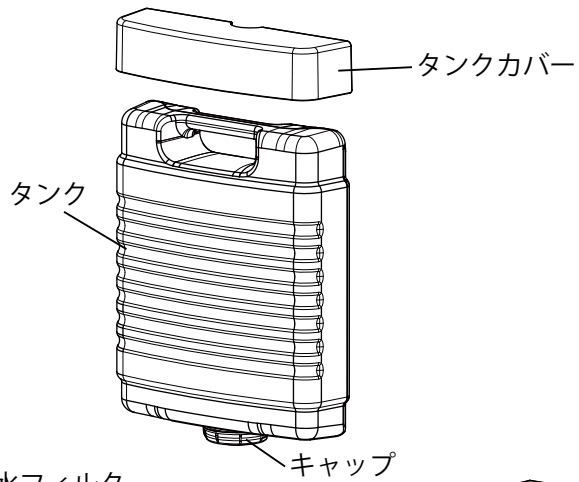
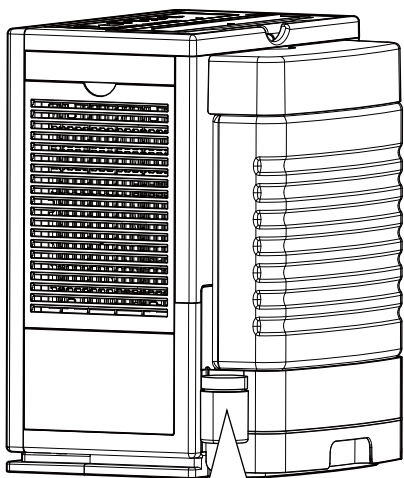
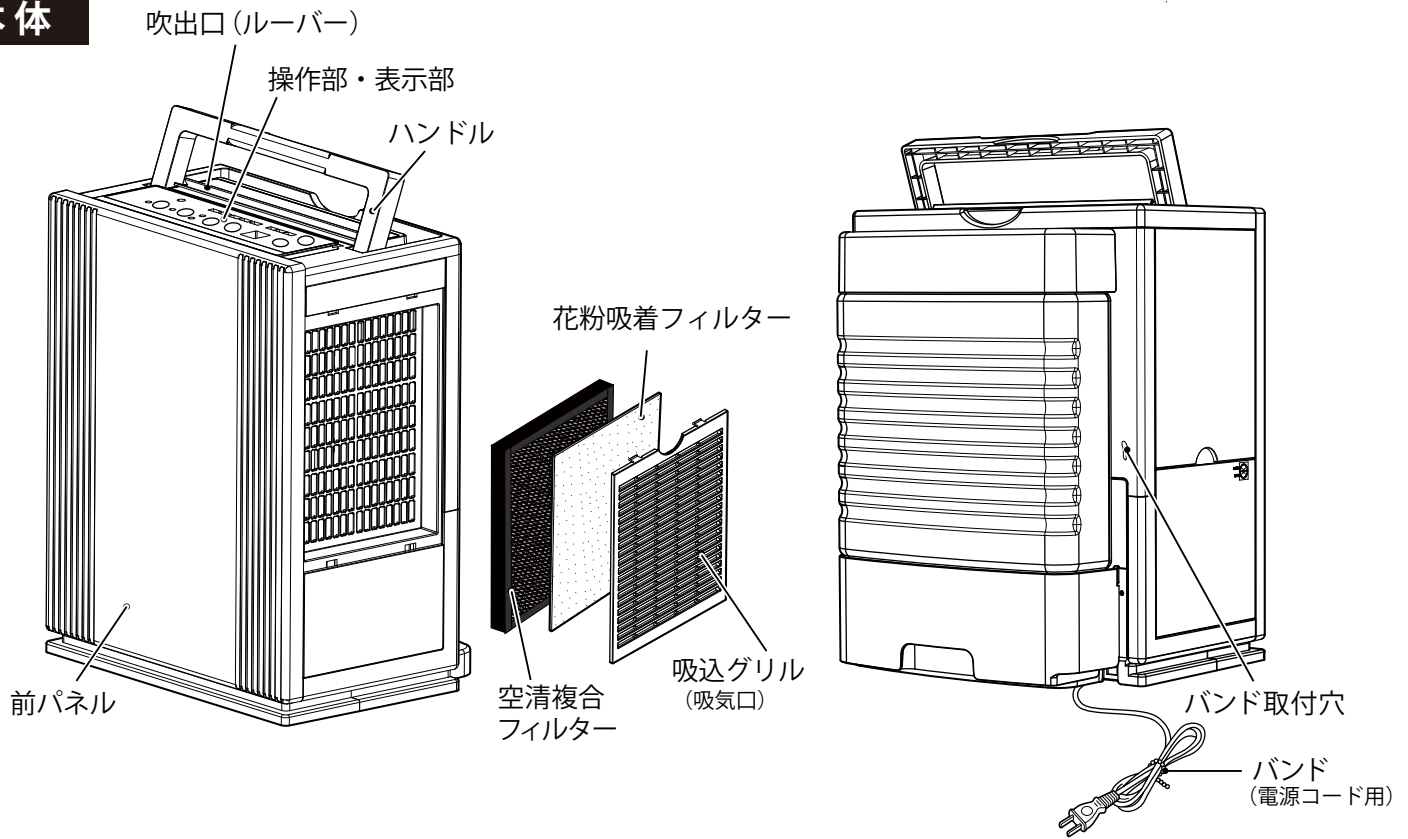
種類	感知	表示
温度・湿度センサー	部屋の温度・湿度に反応します。	デジタル表示部
光センサー	「自動」運転時にお部屋の明るさに反応します。 ※光センサー受光部(P.7)をふさがないでください。	

常時発生し続けるニオイ成分（建材臭、ペット臭等）は、すべて除去できるわけではありません。

- タバコの有害物質（一酸化炭素など）は除去できません。

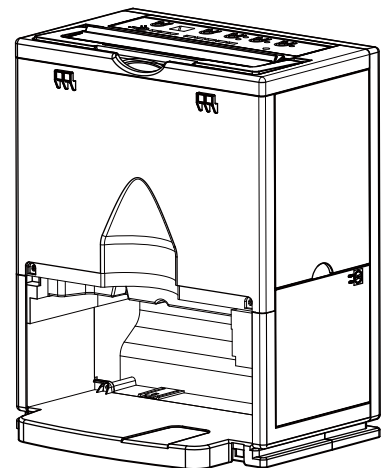
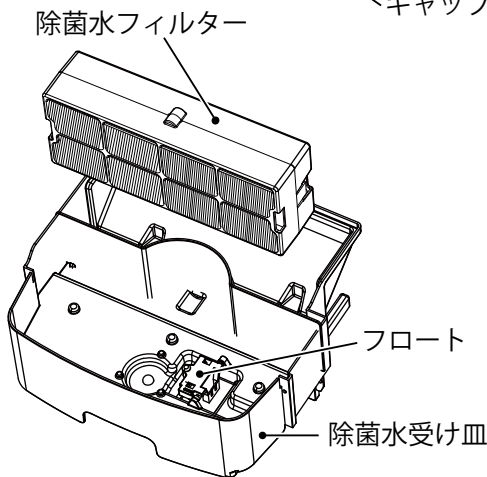
各部のなまえ

本体



塩用さじ付きボトルはホルダーに入れて、除菌水受け皿のここに引っかけてください。

【事前にご準備いただくもの】
食塩または食卓塩(固まりにくいもの)



※図は説明のため全て「点灯・表示」した状態です。

お手入れランプ (P.14)

- ・除菌水フィルターのお手入れ時期がくると点灯します。
手順に従ってお手入れしてください。

電解濃度切換スイッチ (P.12)

- ・押すごとに弱→中→強の順番で切換します。
- ・除菌水フィルター乾燥運転を行います。
運転停止中に約5秒間押し続けると
給水ランプとお手入れランプが交互に点灯し、
フィルター乾燥運転に入ります。(P.17)

光センサー受光部 (P.9)

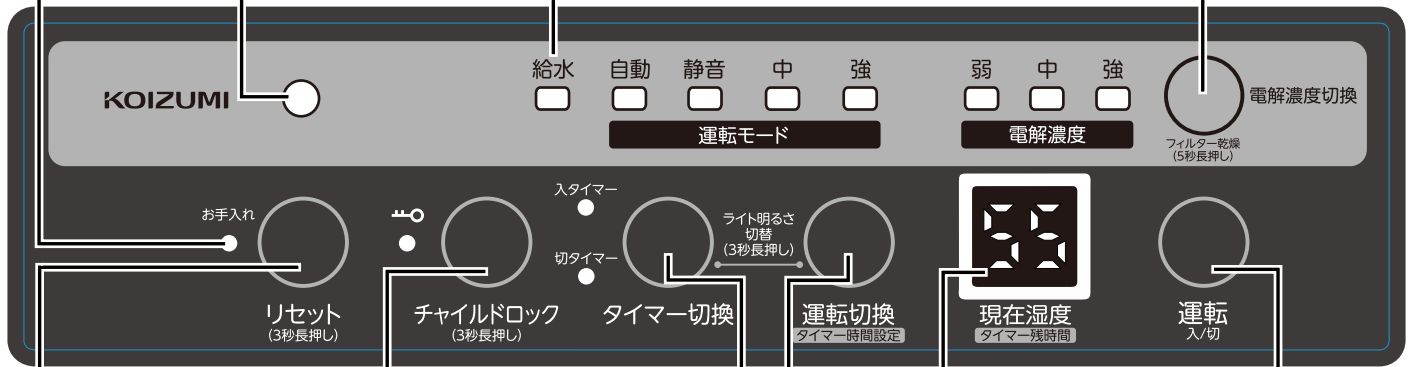
- ・「自動」運転時にお部屋の明るさに反応します。
※受光部をふさがないようにください。

運転ランプ (P.9)

- ・運転状態を表示します。

給水ランプ (P.11)

- ・点灯:タンク・除菌水受け皿の水がなくなったことをお知らせします。



チャイルドロックスイッチ (P.10)

- ・スイッチを約3秒間押し続けると、
チャイルドロックの『入』『切』ができます。

運転スイッチ (P.9)

- ・運転の『入』『切』を行います。

タイマー切換スイッチ (P.10)

- ・タイマーを設定します。

運転切換スイッチ (P.9)

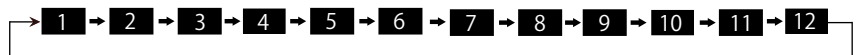
- ・運転、風量を切換えます。

リセットスイッチ (P.14)

- ・お手入れランプが点灯中に、
約3秒間押し続けると消灯します。
※お手入れを行ってから、
リセットスイッチを押して
ランプを消灯してください。

デジタル表示部

- ・現在の湿度 (%) を01~99%で表示します。
湿度表示は目安としてお使いください。
- ・タイマーの残時間を表示します。

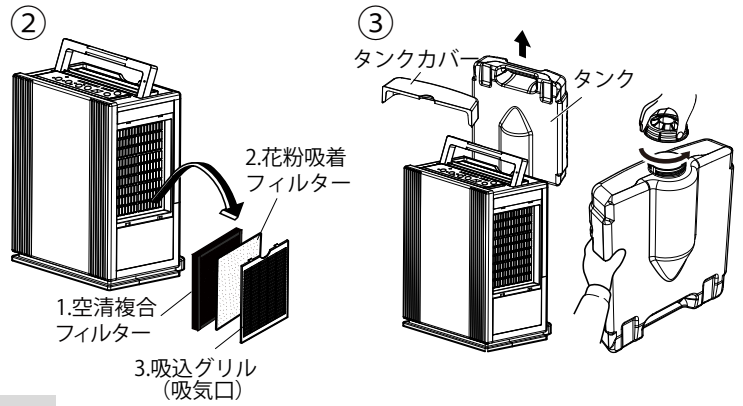


デジタル表示例

- ・現在湿度55%を表示しています。

使う前の準備

- ① 本体の輸送用固定テープをはがす
- ② 吸込グリルを外し、花粉吸着フィルター、空清複合フィルターを取り出す
 - ・フィルターを袋から出して、次の順で本体に取り付ける
 - 1.空清複合フィルター 2.花粉吸着フィルター 3.吸込グリル
- ③ 本体からタンクを外し、タンクキャップを外す
- ④ タンクに水道水（飲用）と食塩を投入する
 - ・タンクが倒れないよう、ご注意ください。



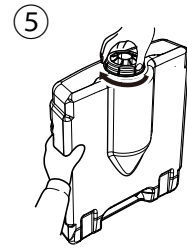
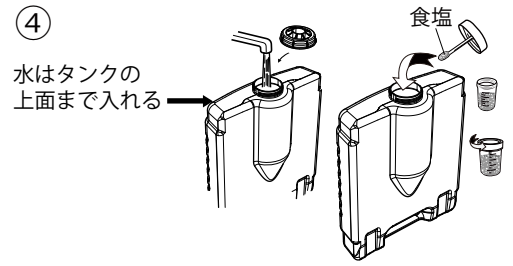
※食塩を投入しない場合、次亜塩素酸の効果が弱くなります。
 目安：付属している塩用さじ付ボトルのさじで2～5杯（0.8～2.0g）程度投入してください。
 （濃度が高い方が電解が促され除菌効果が高くなります。）

食塩・食卓塩は付属しておりません。お客様ご自身でご準備ください。
 ※必ず食塩もしくは食卓塩をご使用ください。アジシオや塩コショウなどをご使用できません。

- ⑤ タンクのキャップを締める
 - ・タンクが倒れないよう、しっかり持って締める。
 - キャップの溝とタンクのねじ山が噛み合うようにしっかりと締めてください。
 - 噛み合わないまま無理に締めると破損や水漏れの原因になります。

※タンクカバーは本体のツメに引っかかるように、しっかりとぶせてください。
 タンクが外れる原因になります。

- キャップは確実に締め、水がもれていないことを確認してください。
- 水が入ったタンクを本体にセットするときは、静かにセットしてください。
 本体が破損し、水もれの原因になります。
- タンクには約6リットルの水が入ります。



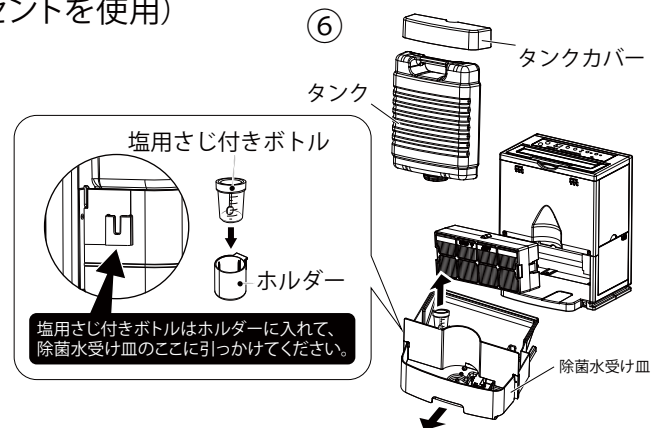
△注意 タンクの水は毎日新しい水道水と入れ替え、常に清潔にしてお使いください。

- タンクを外す際、水滴が垂れることがありますので蓋の部分にタオルなどをあてて作業をしてください。
- お手入れランプが点灯したら、除菌水受け皿の水を排水してください。
 お手入れランプが点灯しなくてもこまめに排水していただいた方が除菌効果が高くなります。

- ⑥ 除菌水受け皿を引き出して、除菌水受け皿に同梱している「塩用さじ付きボトル」と「塩用さじ付きボトルホルダー」を取り出し、除菌水受け皿の所定の位置に取り付けてください

- ⑦ 電源プラグをコンセントに差し込む（AC100Vのコンセントを使用）

- ・通電後、しばらくすると電解水除菌システムが働きます。
- ・初めて使用するときや、除菌水フィルターを交換したときなど、除菌水フィルターが乾燥した状態から運転を開始する場合は、給水後10分以上待ってから運転スイッチを押してください。

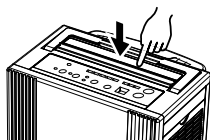


お願い ●2シーズン目以降、初めてお使いになるときは、必ず本体や各部の点検をしてください。汚れ等が目立つときは、『お手入れのしかた』に従ってお手入れをしてからお使いください。（P.12）

使いかた


運転する前に

ルーバーを押して開く。




- 運転する時は必ずルーバーを開けてください。閉じたまま運転すると故障の原因になります。
- ルーバーの角度は3段階に変えることができます。お好みの位置にセットしてください。
- 運転しないときは、ルーバーを閉じてください。ほこりや異物の侵入を防ぐことができます。

運転する

を押す。
運転
入/切


- 運転ランプが点灯します。
- 同時にデジタル表示部が点灯し、「5」「4」「3」「2」「1」と表示してから現在湿度 (%) を表示します。
- 初期設定時は運転「自動」、電解濃度「弱」で運転を開始します。電源プラグを抜き差しすると初期設定に戻ります。

運転を止める

を押す。
運転
入/切

- デジタル表示部や運転ランプが消灯します。

運転を切換える

を押す。
運転切換
(時間設定)

自動 → **静音** → **中** → **強**

自動 現在湿度が75%以上の時は「静音」運転
65%未満の時は「中」運転
65%以上75%未満の時は「静音」と「中」の中間スピードで運転
自動運転中にお部屋が暗くなると約30秒後に光センサーの働きで、各ランプ、デジタル表示部の明るさを調節し消費電力を抑え、「静音」運転になります。
お部屋が明るくなると約30秒後に元の運転に戻ります。

静音 湿度に関係なく、風量「弱」で連続運転します。

中 湿度に関係なく、風量「中」で連続運転します。

強 湿度に関係なく、風量「強」で連続運転します。

※強運転を長時間使用しますと除菌水フィルターに不純物が堆積し、正常に気化されず水飛沫が噴き出す可能性が高くなります。
室内湿度が上がり次第、自動運転への切り替えを推奨します。
水飛沫が噴き出した場合には、P.14のお手入れのしかたに従ってお手入れをしてください。

使いかた

チャイルドロック

1  を約3秒間押す。

チャイルドロック
(3秒押し)

2 解除するときは、再度



 を約3秒間押す。

チャイルドロック
(3秒押し)

- チャイルドロックランプが点灯します。
- チャイルドロック設定時は、運転停止とチャイルドロック解除以外の操作はできません。
- 運転停止中も3秒間スイッチを押すとチャイルドロックがセットされ、全ての操作ができません。
- チャイルドロックランプが消灯します。
※ チャイルドロックをセット中に電源プラグを抜くと、チャイルドロックが解除されます。

タイマー予約

12時間の範囲で、ご希望の時間に運転開始または停止します。 入・切タイマーの同時予約はできません。

入タイマー：設定した時間後に運転を開始します。

切タイマー：設定した時間後に運転を停止します。

タイマー予約設定

1  を押し、「入」「切」を

タイマー切換
(減灯3秒押し) 選択する。


2  を押し、

運転切換
(時間設定) 残時間を設定する。

タイマー設定時間の確認

3 確認するときは



 を押す。

タイマー切換
(減灯3秒押し)


タイマー設定時間の変更

4 1,2と同様の手順

タイマー予約解除

5 解除するときは




 を押す。

タイマー切換
(減灯3秒押し)

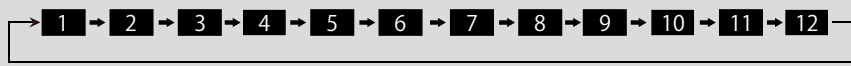
① 「入」ランプまたは「切」ランプが点滅するまで  を押します。

タイマー切換
(減灯3秒押し)

② 点滅している間に  を押し残時間を設定し、5秒待ちます。


運転切換
(時間設定)

残時間は1時間単位で設定できます。




③ 「入」ランプまたは「切」ランプが点滅から点灯に変わり、設定が完了となります。

※ タイマー設定中は各ランプ、デジタル表示部が暗くなります。

-  を1回押す。デジタル表示に設定した残時間が表示され、設定した残時間の確認ができます。そのまま待つと現在湿度表示に戻ります。

- タイマー予約設定中に①を行います。「入」ランプまたは「切」ランプが点滅しデジタル表示部には設定中の残時間が表示されますので、ランプが点滅している間に②、③の手順で残時間設定の変更を行ってください。

-  を4回押すと解除されます。「入」「切」タイマー共通です。

使いかた

タンク・除菌水受け皿の水がなくなると

タンク・除菌水受け皿の水がなくなると自動的に運転を停止し、給水ランプが点灯、お知らせ音でお知らせします。



タンクに水道水を給水し、食塩を適量（専用さじで2～5杯）投入後、本体にセットしてください。
自動的に運転を再開します。

次の場合は「給水」ランプのみの点灯となります(お知らせ音は鳴りません)

1. 切タイマー予約中のとき


2. お部屋が暗くて、光センサーが働いたとき



ランプの明るさと設定について

デジタル表示部（現在湿度）および全てのランプの明るさは、3段階で設定することができます。

運転中にデジタル表示が点滅するまで  と  を同時に3秒間押してください。

デジタル表示が点滅する間に、 を押すと、下記の順でランプの明るさが切り替わります。



設定したい明るさを選択し、5秒間待つと設定が完了します。

なお、この設定は電源プラグを抜くと『F1（明るい）』に戻ります。

給水のお知らせ音について（給水のお知らせ音を鳴らなくする）

運転中に  と  を同時に約3秒間押してください。お知らせ音が鳴って設定されます。

なお、この設定は電源プラグを抜いても解除されません。解除するときは、再度同じ操作をしてください。

お知らせ

- タンク・除菌水受け皿の水がなくなると給水のお知らせ音が約6秒間鳴ります。
途中でお知らせ音を止めたいときは、運転スイッチを切ってください（この時、給水ランプも消えます）。
- 給水せずに運転スイッチを入れた場合も、お知らせ音が約6秒間鳴ります。
- 給水ランプが点灯した場合、除菌ができなくなりますので、できるだけ早めに水道水（飲用）を給水してください。
その際必ず食塩を適量（専用さじで2～5杯）投入してください。
- 運転停止中でも、タンクに塩水が入っている場合は電源プラグを抜かないでください。
電解水除菌システムが働かないため、カビや雑菌が繁殖して悪臭の原因になります。
また、お手入れの時期を正しくお知らせすることができません。
ただし、お手入れや移動などのために、一時的に電源プラグを抜いても支障ありません。

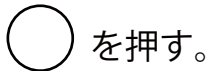
積算運転120時間後の操作

積算運転時間120時間に達しますと『お手入れ』ランプが点灯します。

運転を切り、P.14の『除菌水フィルターのお手入れ』の手順に従ってお手入れをしてください。

使いかた

電解濃度切換スイッチ



電解濃度切換
(フィルター乾燥)
5秒押し

を押す。

押すごとに:弱 → 中 → 強の順番で切換 

「弱」: 通常加湿器としてご使用の場合

「中」: ウイルス対策、除菌、消臭対策プラス加湿器としてご使用の場合

「強」: 特にお部屋のニオイが気になるときや除菌効果を高めたい場合

※「強」運転の際は必ず食塩(若しくは食卓塩)を専用さじで5杯(2g)投入して下さい。

※塩素臭(プールの様な臭い)が気になるときは換気をして電解濃度「強」以外のモードにしてください。

お手入れのしかた

お手入れはこまめに行ってください。汚れがひどくなると加湿量の低下や故障・悪臭の原因になります。

※フィルターが目詰まりを起こすとE2エラーが表示され、お知らせ音が鳴り、運転が停止します。

お手入れをしてから電源プラグを抜き差ししていただくとうエラーは解消されます。

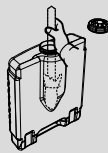
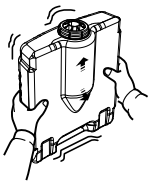


お手入れのときは電源プラグを抜いてください。

タンク、本体のお手入れには塩素系タイプの洗浄剤や化学薬品は使用しないでください。

タンクのお手入れ(毎日)

少量の水を入れ、キャップをしめて振り洗いし、常に清潔にしてください。給水は必ず水道水(飲用)を使用してください。



汚れがひどい場合はタンクの中を直接洗うこともできます。

※細い棒の先に柔らかい布を縛って拭いてください。

本体のお手入れ(汚れたら)

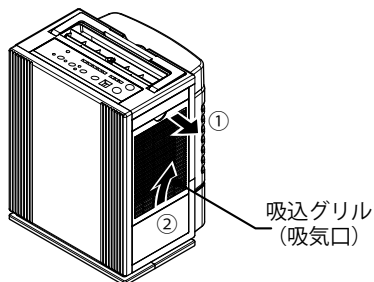
- 水に浸した柔らかい布で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸して固くしぼってから汚れを拭きとり、仕上げに水拭きしてください。



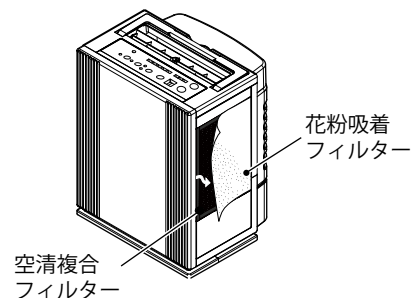
- 変形、変色防止のため、ベンジン、シンナー、アルカリ性洗剤、クレンザーなどは使用しないでください。また、化学ぞうきんを使用するときは、その注意書きに従ってください。

花粉吸着フィルターのお手入れ(約1週間に1回)

1 吸込グリルの上下を①、②の順で手前に引いて外す。



2 空清複合フィルターから花粉吸着フィルターを外す。



お手入れのしかた

- 3** 掃除機でほこりを取り除く。
花粉吸着フィルターを傷付けたり、吸い込まないように、掃除機は弱でご使用いただくなど注意してください。

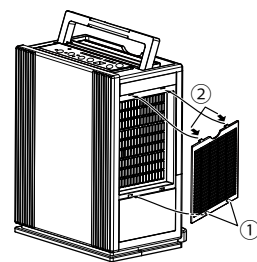


※使い続けるうちに変色することがありますが、使用上の不具合はありません。

※水洗いはしないでください。
縮んだり、破れたりする場合があります。
また効果が低下します。

- 4** 花粉吸着フィルターを元に戻し吸込グリルを取り付ける。

- ① 下側のツメ2箇所を先に差し込む
② 上側のツメ2箇所を押し込む

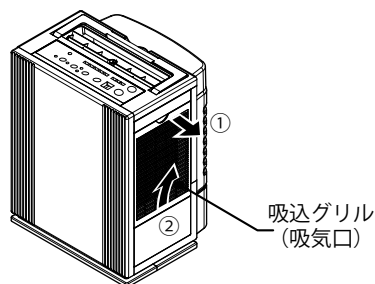


お願い

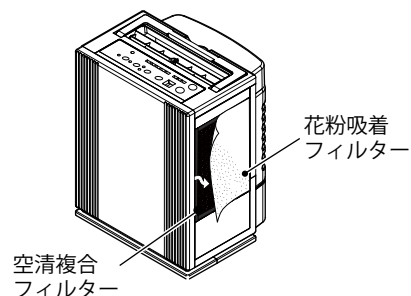
- 花粉吸着フィルターの汚れがひどくなると、除菌能力や加湿能力が低下する場合があります。1週間に1~2回は必ずお手入れをしてください。
- 花粉吸着フィルターを外したまま使用しないでください。故障の原因になります。
- 花粉吸着フィルターを破損などにより購入される場合には、お買い上げの販売店、または小泉成器株式会社「部品センター（裏表紙）」にご依頼ください。

空清複合フィルターのお手入れ（約2週間に1回）

- 1** 吸込グリルの上下を①、②の順で手前に引いて外す。



- 2** 花粉吸着フィルターを外してから、空清複合フィルターを外す。



- 3** 掃除機で空清複合フィルターの活性炭プレフィルター側（黒）のほこりを吸い取ってください。

※空清複合フィルターの網目から細かい活性炭の粉が落ちることがありますが、不良ではありません。掃除機で吸い取って常にキレイにしてください。

※空清複合フィルターは耐水性はありません。
絶対に水に浸したり、水洗いはしないでください。



お願い

- フィルターや吸込グリルを外したまま運転しないでください。水もれ・故障の原因になります。
- 掃除機で空清複合フィルターの活性炭プレフィルター側前面のほこりを吸い取ってください。掃除機の吸い口を強く押し付けしないでください。活性炭プレフィルターの破れの原因になります。
- 活性炭プレフィルターに白い固まりができることがありますが、性能や使用上の問題ははありません。

お手入れのしかた

除菌水フィルターのお手入れ (こまめに)

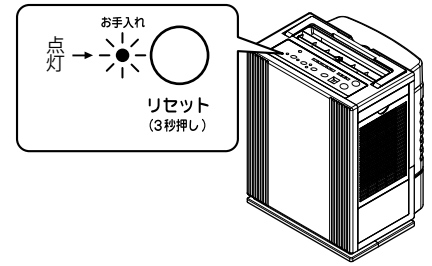
手荒れの原因になりますので、必ずゴム手袋などを使用して作業してください。

除菌水フィルターはお使いいただくうちに、水道水 (塩水) に含まれる塩やカルキ等の成分やミネラル、不純物などが堆積します。

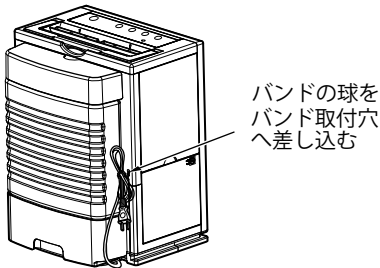
そのままにすると除菌能力、加湿能力の低下や次亜塩素酸水が正常に気化できずに吹出口から飛沫が出るなど、故障の原因になる場合があります。快適にお使いいただくためには、手順に従ってこまめにお手入れをしてください。

お手入れ時期をお知らせするため、電源プラグを差し込んでから積算運転時間120時間でお手入れランプが点灯します。

※お手入れランプが点灯しても運転は止まりません。

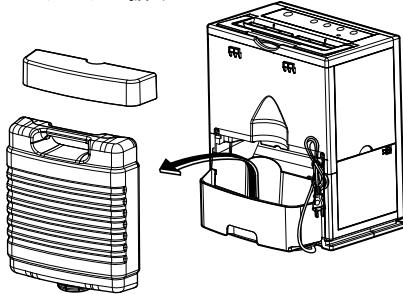


- 1 電源プラグを抜く
電源コードを束ねて、バンドで固定してください。

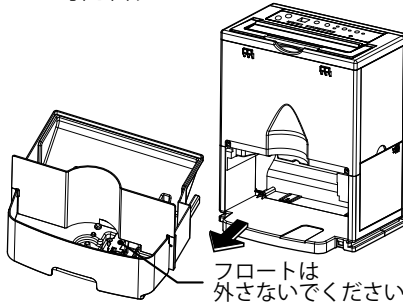


- 2 除菌水フィルターを取り出す
※除菌水フィルターは多量の水分を含んでいますので、水が垂れないようにご注意ください。

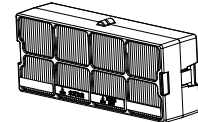
① タンクカバーを外し、タンクを抜く



② 除菌水受け皿を引き出す



③ 除菌水フィルターをケースごと取り出す



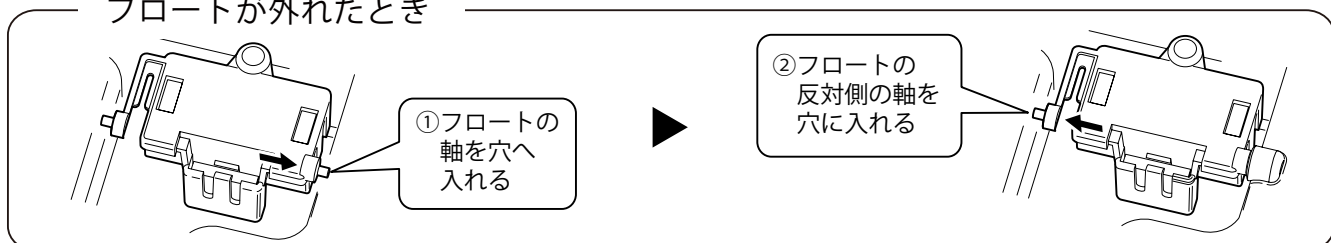
- 3 除菌水フィルターをお手入れする
※お手入れ方法はP.15へ

- 4 除菌水受け皿に残った除菌水を排水し、除菌水受け皿をお手入れする
水に浸した柔らかい布で水あか等の汚れを取り除いてください。

- 5 部品を元通りセットする
お手入れが終わったら部品を元通りにセットし、電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。

- 6 お手入れランプをリセットする
リセットスイッチを約3秒間押ししてください。お手入れランプが消灯します。

フロートが外れたとき



お手入れのしかた

注意

- お使いいただくうちに除菌水フィルターに塩が堆積します。お手入れの際にしっかりと塩を洗い流してください。堆積物によりフィルターが目詰まりを起こし、正常に気化されずに吹出口より水飛沫が噴き出す場合があります。必ずトレイの水を排水する際に除菌水フィルターもお手入れしてください。

お知らせ

- お使いいただくうちに除菌水フィルターが変色しますが、これは除菌水中の成分や空気中のほこり等によるものですので、使用上の不具合はありません。
- 除菌水フィルターの汚れ具合は、水質等の違いやお使いの地域によって異なります。また、使用頻度によっても異なりますので、お手入れランプは目安としてご利用ください。
- 除菌水フィルターにほこりが多く付着すると、カビが発生しやすくなります。こまめに洗浄し、汚れがひどい場合は別売品の除菌水フィルターと交換してください。(P.19)

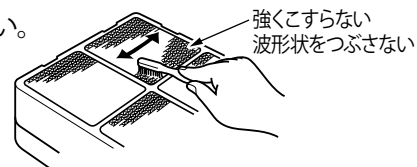
通常のお手入れ

除菌水フィルターを水洗いしてください。

- ① 手荒れの原因になりますので、必ずゴム手袋などを使用して作業してください。
- ② 除菌水フィルターをケースごと容器の中ですすぎ洗いしてください。また、容器が用意できない場合は、水道水で洗い流すだけでも効果があります。



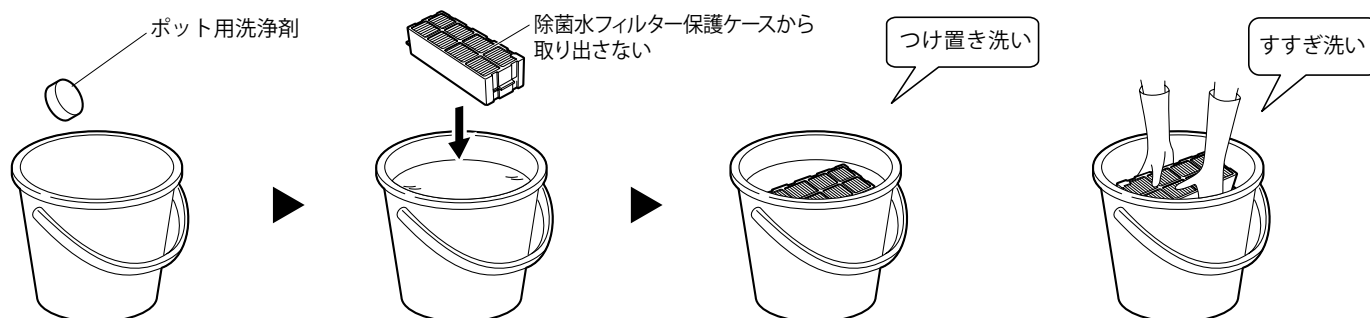
- ③ 除菌水フィルターの表面についた白い粉や汚れを歯ブラシ等で軽くこすり落としてください。
- ④ ②→③の手順を水を取り替えながら、3~4回くり返してください。
- ⑤ 最後に再び水ですすいでください。



汚れがひどい場合 (カルキ成分) のお手入れ

お使いいただくうちに水道水に含まれるミネラル成分が堆積し、フィルターが目詰まりを起こす場合があります。その際は除菌水フィルターを市販のポット用洗浄剤 (使用方法に従う) で、つけ置き洗いしてください。

- ① 除菌水フィルターをケースごと洗浄剤に浸してください。
- ② つけ置き後は洗浄剤の成分が残らないように水で十分にすすいでください。



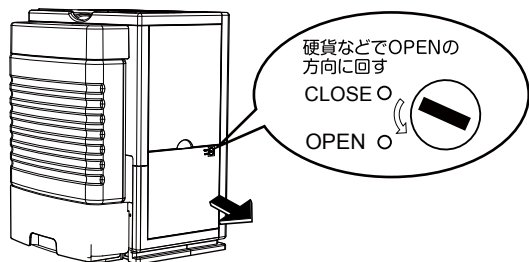
電極ユニットの交換のしかた

電極ユニットの交換 (約4年に1回)

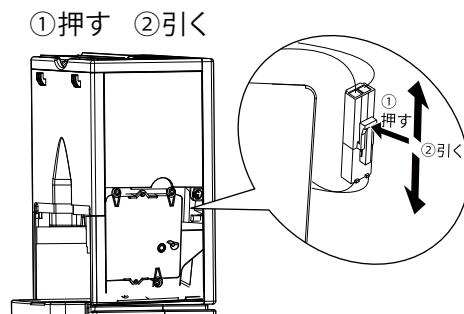
1日12時間「中」運転で365日使用した場合の目安です。使用頻度や環境により大きく異なる場合があります。
 ※通常使用で電解をしなくなりフィルターにカビやヌメリ、悪臭がしてきたら交換時期です。

取り外し方

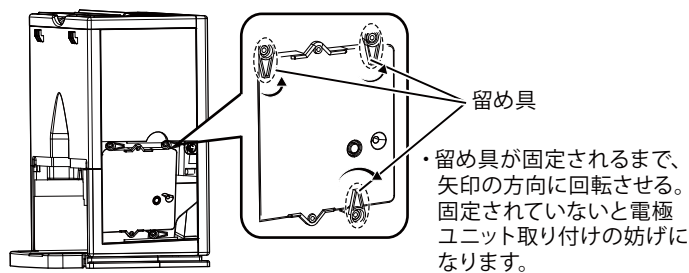
1. 電源プラグを抜いて、除菌水受け皿・タンクを外す。
2. 硬貨などで電極ユニットカバーを外す。



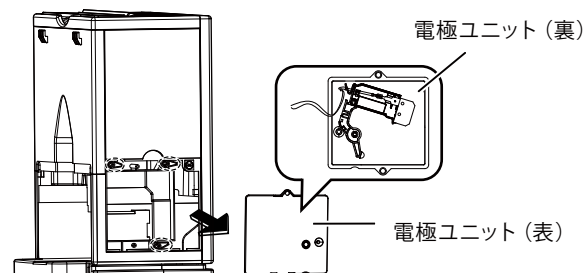
3. 電極ユニットのコネクターを外す。



4. 3か所の留め具を回転させる。

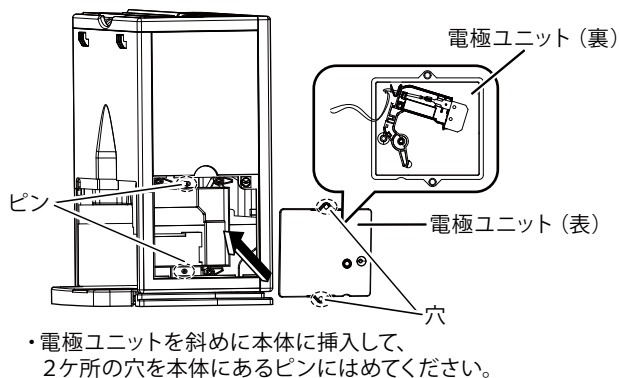


5. 電極ユニットを取り出す。

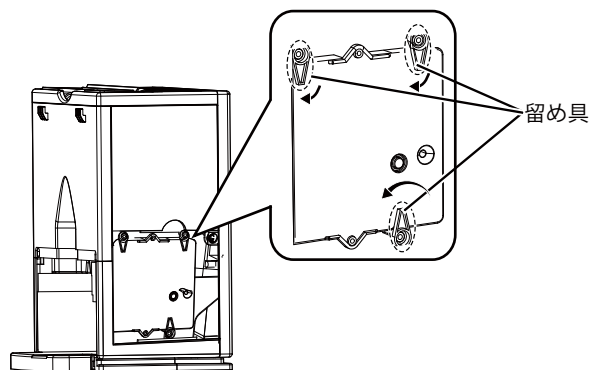


取り付け方

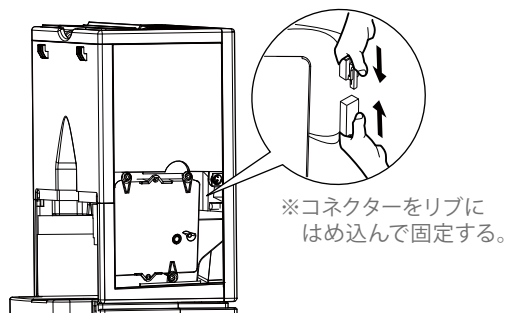
1. 新しい電極ユニットを取り付ける。



2. 留め具を回転させて、電極ユニットを固定する。



3. 新しい電極ユニットのコネクターを取り付け、はめ込む。



4. 電極ユニットカバーを取り付け、硬貨などで固定する。
5. 電源プラグをコンセントに差し込む。



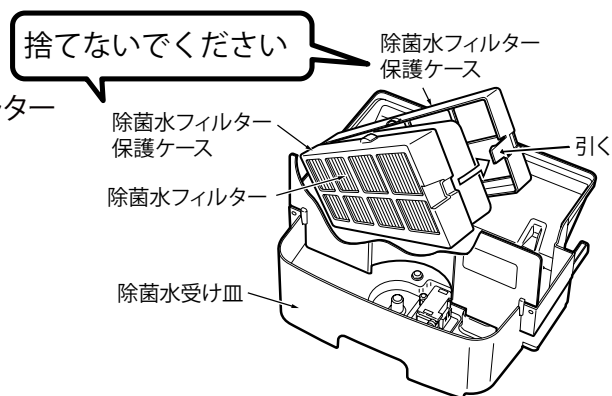
電極ユニットの廃棄について
 ※ご使用済の電極ユニットは不燃物です。
 お住まいの地域のごみ分別方法に従い廃棄してください。

除菌水フィルターの交換のしかた

- 交換時期の目安は、約12カ月（1日8時間運転の場合）です。
- 使用条件（水質や使用時間など）によって交換時期は異なります。
- 次のような状態になったときは、交換してください。
 - ・お手入れをしても、においや水あかが取れないとき。
 - ・傷みや型くずれがひどいとき。
 - ・タンクの塩水の減りが極端に遅くなったとき。
- 中身の除菌水フィルターのみを交換し、除菌水フィルター保護ケースは続けてお使いください。
- 除菌水フィルターは多量の水分を含んでいます。取り出すときは、水が垂れますので除菌水受け皿または容器の中で作業をしてください。

除菌水フィルターの交換

1. 14ページの『除菌水フィルターのお手入れ（こまめに）』を参照し、除菌水フィルターを取り出します。
2. 右図除菌水フィルター保護ケースの矢印部のツメを外し、除菌水フィルター保護ケースを外してください。＊ケースは前後共通です。
3. 中身の除菌水フィルターを取り出します。
4. 別売品の除菌水フィルターを袋から出して、片方の除菌水フィルター保護ケースに収めます。
5. もう片方の除菌水フィルター保護ケースを取り付けます。
6. 除菌水受け皿に残った水を排水します。
7. 除菌水フィルター保護ケースを元通りに、除菌水受け皿の中へセットします。



お願い

使用済みの除菌水フィルターは、水をよく切ってから不燃ゴミとして捨ててください。

保管（長期間使用しないとき）

1. 電源プラグを抜く
2. お手入れをする
12～15ページの『お手入れのしかた』に従ってお手入れをした後、各部の水気をよく拭き取り、十分乾燥させてください。
【フィルター乾燥運転を行う（運転スイッチは入れないでください）】
※ 除菌水フィルターは湿ったまま保管するとカビが発生する原因になります。必ずフィルター乾燥運転を行ってください。
 - ① 電源プラグを差し込んでください。
 - ② 除菌水フィルターの水をよく切って保護ケースに収め、除菌水受け皿に戻し、本体にセットします。
 - ③ ルーバーを全開にしてください。
 - ④ 電解濃度切替スイッチを約5秒押し続けると、給水ランプとお手入れランプが交互に点灯し、除菌水フィルター乾燥運転に入ります。
 - ⑤ 電源プラグを抜き、ルーバーを閉じて保管してください。
3. 湿気の少ないところで保管する
本機の入っていた箱に入れるか、ポリ袋に入れて湿気の少ないところで保管してください。

お願い

フィルター乾燥運転をしても除菌水フィルターの乾燥が不十分な場合は、繰り返し乾燥運転を行い、十分に乾燥させてください。

故障かな?と思ったら



分解修理・改造の禁止

●分解修理・改造はしないでください。火災・感電・けがの原因になります。

エラーのお知らせ (デジタル表示でお知らせします。)

表示	原因	処置方法
E1	本体が傾いていませんか? 本体へ衝撃を与えていませんか?	平らな場所に移動し、電源プラグを抜き差ししてください。
E2	フィルターがポリ袋に入ったままではないですか?	フィルターをポリ袋から出して取り付け、電源プラグを抜き差ししてください。
	ルーバーが閉じていませんか?	ルーバーを押して開けてから、電源プラグを抜き差ししてください。
	フィルターが汚れていませんか?	フィルターのお手入れをして、電源プラグを抜き差ししてください。お手入れをしても解消されない場合には新しいフィルターと交換してから電源プラグの抜き差しをしてください。
E3	器具の故障	運転スイッチを切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。

次の状態は故障ではありません

修理を依頼される前に次の点検をしていただき、それでもなお異常のある時は事故防止のため使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または小泉成器株式会社「お客様相談窓口(裏表紙)」へご連絡ください。

症状	原因	処置方法	
運転スイッチを入れても運転を開始しない	電源プラグがコンセントから外れていませんか	電源プラグを根元まで確実に差し込み、運転スイッチを入れてください。	8~9
	チャイルドロックがセットされていませんか	チャイルドロックを解除してください	10
給水ランプが点灯している	タンクの水が空になっていませんか	タンクに水道水を入れてください。	11
お手入れランプが点灯している	積算運転時間120時間に達しています	タンクおよび除菌水受け皿に残っている水を排水し、花粉吸着フィルター・空清複合フィルターおよび除菌水フィルターをお手入れしてください。お手入れをした後リセットボタンを3秒長押ししてください。	12~15
タンクに水が入っているのに給水ランプが点灯している	除菌水受け皿が確実にセットされていますか	除菌水受け皿を確実にセットしてください。	3
	フロートが引っ掛かっていませんか	フロートの周りのごみを取り除いてください。	14
	本体が傾いていませんか	水平で安定したところに設置してください。	4
吹出口からの送風がカビ臭い	タンクに水道水と食塩(食卓塩)が入っていますか	「お手入れのしかた」に従ってお手入れをしてください。新しい水(水道水)と入れ替え、食塩(食卓塩)を専用さじで2~5杯(0.8~2.0g)投入してください。	12~15
	除菌水フィルターや除菌水受け皿に水あかやごみがたまっていますか		
	電極ユニットの交換時期ではないですか	電極ユニットを交換してください。	16
塩素の臭いがする(プールのような臭い)	電解水除菌システムによるものです	故障ではありません。そのままご使用ください。臭いが気になる場合は電解水の濃度を薄めるか、運転を弱めてお使いください。	9,12
「ポコ」「ポコ」音がする	タンクから除菌水受け皿に給水する音です	故障ではありません。そのままご使用ください。	
除菌水が早くなくなってしまう	エアコンや暖房機、送風機の近くや直射日光が当たる場所で使っていませんか	エアコンや暖房機、送風機の近くや直射日光が当たる場所から離してお使いください。	4
吹出口から飛沫が出る	除菌水フィルターが目詰まりしていませんか	除菌水フィルターが目詰まりしていないか確認し、「お手入れのしかた」に従ってお手入れしてください。	15
		改善されないときは交換してください。	19

仕様

特定地域（高地、極寒地など）では、所定の性能が確保できないことがあります。

品 番		KHM-6010			
製品能力	加湿能力	強	中	静音	
		約600ml/h	約300ml/h	約100ml/h	
	連続運転時間	連続運転モード			
		強	中	静音	自動運転
	約10時間	約20時間	約60時間	-	
	適応床面積（目安）	(12畳)			
タンク容量	約6.0L				
電気特性	電 源	AC100V 50/60Hz			
	定格消費電力 50/60Hz	強	中	静音	
		29/29W	10/10W	4/4W	
	電源コード	2.0m			
外形寸法(幅・奥行・高さ)	320mm・280mm・400mm				
質 量	6.2kg				

※前提条件として室温20℃湿度30%を想定して算出しております。

※本機の仕様および外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

※運転停止しても電源プラグが差し込まれておりますと約0.4Wの電力を消費します。

※【加湿】適応床面積の数値はJEMA(日本電機工業会)規格(JEMA1426)に基づく値です。

消耗部品について

消耗部品を依頼される場合は、お買い上げの販売店、または小泉成器株式会社「部品センター(裏表紙)」にお問い合わせください。

名 称	品 番	交換時期（目安）
花粉吸着フィルター	KHM-092	12ヶ月
空清複合フィルター	KHM-093	24ヶ月
除菌水フィルター	KHM-094	12ヶ月
交換用電極ユニット	KHM-095	48ヶ月

※フィルター類の交換時期は1日約8時間運転した場合の目安です。劣悪な環境や運転時間が長い場合は交換時期が早まります。

12～15ページのお手入れのしかたに従ってお手入れしてください。

※電極ユニットの交換時期は1日約12時間「中」運転した場合の目安です。

アフターサービスについて

1. 保証書

- この取扱説明書には保証書が付いています。
保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。
保証書の記載内容により無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときはお買い上げの販売店にご相談ください。
修理により機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- 次亜塩素酸加湿器の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、小泉成器株式会社「修理センター（裏表紙）」にお問い合わせください。

愛情点検

★長年ご使用の次亜塩素酸加湿器の点検を！



このような
症状は
ありませんか

- 水漏れする。
- 電源コードを動かすと、途中で止まる。
- 運転中、異常に大きい音がしたり、激しく振動する。
- 本体が異常に熱かったり、こげくさいニオイがする。
- その他の異常や故障がある。



ご使用
中止

このような症状の時は、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

<利用目的>

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理対応のみを目的として使用させていただきます。なお、この目的のために小泉成器株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

保証・無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合、「無料修理」いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参・ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。
3. ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理のご依頼ができない場合には、取扱説明書の小泉成器株式会社「修理センター（裏表紙）」へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下等による故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、落雷、水害、その他の天災地変、異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えた場合。
5. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
7. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または取扱説明書の小泉成器株式会社「修理センター（裏表紙）」にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理について詳しくは取扱説明書の「アフターサービスについて（P.20）」をご覧ください。

修理メモ

次亜塩素酸 加湿器

保証書 持込修理

本書は、本書記載内容（裏面記載）で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

型番	KHM-6010		
お買い上げ年月日	年	月	日
無料修理 保証期間	対象部分	期間（お買い上げ日より）	
	本体	1 年	
お客様	お名前	様	
	ご住所	〒	TEL
販売店	店名・住所・電話		

★販売店の皆様へのお願い 必ず全項目をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。

小泉成器株式会社 本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06 (6262) 3561

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について

お客様相談窓口



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL:06 (6262) 3561 / FAX:06 (6268) 1432

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL:048 (718) 3340 / FAX:048 (718) 3350

部品に関するお問い合わせ

部品センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL:06 (6613) 3211 / FAX:06 (6613) 3299

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号
TEL.06 (6262) 3561 FAX.06 (6268) 1432

受付時間:平日9:00~17:30
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2021年9月現在（所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。